

コーチング解体新書

～やる気を引き出す源泉を探る～

その27 愛情をもって本気で人とかかわる



猪俣 恭子
中央大学文学部卒
卒業後足利銀行に7年間勤務。窓口業務を経て、人事部研修グループで行内研修の企画・運営および講師を担当。退職後は家業の印刷会社に従事。2004年からはコーチングを用いた社内の人材育成を手掛け、「良質なコミュニケーションが実現されている現場こそがビジネスの成功をうむ」と実感し、2006年Coaching Press株式会社を設立、代表取締役として現在に至る。国際コーチ連盟プロフェッショナル認定コーチ、助生涯学習開発財団認定マスターコーチ、コーチ21CTPクラスコーチ、米国CCE, Inc.認定 GCDF-Japan キャリアカウンセラー

私がキャリアカウンセラーとして関わっているところでは、非常にハードな就活支援プログラムがあります。それはゴールが「二週間で内定をとる！」とかなり高く、そのために毎日一社以上応募する、活動進捗は必ず講師に報告する、と期間中は一息入れる間が全くないものです。それでも参加者が最後まで続けられるのは「もうこのままでは嫌。ちゃんと働きたい。」という思いがあるからで、だからこそ私たち講師もいっさい気を抜くことはできません。

ところが参加者のAさんの様子はちょっと違っていました。やる気はあるのですが、どうも行動が伴わない。そもそも参加のきっかけが講師にすすめられ「まあ、じゃあ、やってみてもいいかな」と軽い気持ちからだったということもあって一日、二日と経つにつれ、案の定疲れが見えてきました。そして二週目に突入した月曜日、体調不良ということで欠席します。その翌日も。その日の夕方、Aさんと電話で話をしました。

Aさん「先週、面接を二社受けたし、今はその結果を待っていたと思います。」

私 「でも、内定になるかどうかわからないんだから、応募は続けてほしいな。こうして待っている時間ももったいないよ。そうでないと、今週中に内定を決めるのは難しいよ。」

Aさん「そんなに急いで内定とらなくてもいいんです。このプログラムに参加したのも、大学卒業して何もしていないとまずいし、就職活動してるっていう実感がほしかったからです。で、面接も受けてもうその実感も得られたからいいかな、と思っています。」

晴天の霹靂。それはまずかろう！ まさかそんな考えをもっていたとは…！ と驚く一方、Aさんの声のトーンがやたら低く沈んでいるのも気になっていました。とても23歳の男性とは思えないほど疲れきった感じ、エネルギーレベルがとても下がっているように思いました。

よし、聴こう。彼の思いを聴こう、そう決心しました。彼に言いたいことは山ほどある、でもまず聴こう。私の言い分は、彼が最後まで話し終えてからでも

遅くはない。そう決めてから、彼のトーンに合わせてあいづちを打ち、電話といえどなずき、時に彼の言葉を丁寧に繰り返して、じっくり聴き役にまわりました。恐らく10分は過ぎていたと思います。少し沈黙がありました。さて、これからどうしようかな、と思った矢先、

「聴いてくれてありがとうございます。」

と、ふっきれたような力強い彼の言葉が私の耳に届いたのではないですか！ あまりにも意外なことに目がさめる思いでした。

翌日、Aさんは何事もなかったかのように開始時間前に顔を出しました。

そうして迎えたプログラムの最終日。私はAさんに伝える言葉を決めていました。それはこれからも就職活動が続くAさんへの「はなむけ」の言葉でもありました。

「あのとき、聴いてくれてありがとう、って言うてくれてとても嬉しかった。あなたはそういう大切なことをちゃんと相手に伝えられる人なんだね。」と一言一言に心を込めてまっすぐに届けると、Aさんはなんともいえない笑顔になり、恥ずかしそうに視線を床に落としました。

今、プログラム期間終了後も、Aさんは自分のペースであきらめずに応募を続けています。

相手に対して何かを変えてほしいと思うのなら、愛情をもって本気でかかわる、その気持ちが相手の心に影響を与え、行動をも変える、と私は信じています。

コーチングは、「その人の目標達成に向けて必要な知識やスキルを、その人なりの方法で身に付けさせながら自発的な行動を促すコミュニケーション」です。そのために、その人が目指している姿が「夢の話」で終わらないように、自分にもできるんだと自信が得られるように、本気で愛情をもってかかわることを私は大切にしています。

とはいえ、いつもじっくり「聴く」ばかりではありません。相手の元気度が高ければ、思いきって厳しく迫っても大丈夫。その体験を次回は紹介します。



コーチングプレス株式会社

〒336-0021 埼玉県さいたま市南区別所6-17-310 電話 048-863-8914 FAX 020-4665-3162

<http://www.coaching-press.com/> (「コーチング解体新書」バックナンバーも掲載中!!)